

「今週の1枚」



カラフトキンモウゴケ （タチヒダゴケ科）

冷温帯・寒温帯の樹木の幹や枝に着生するコケ植物。乾湿の差が激しい場所に生育し、乾燥時には葉が縮れてクッション状になり、霧や雨を得ると葉を広げて（写真）水を集めるので、森林の水かん養機能の一つである樹雨を増やすことに役立っているらしい。蒴（さく、胞子体）を包む帽には金色の毛がある。（埴田）

（No.75 2002. 11. 11 掲載）

Ulota crispa (Hedw.) Brid. (Orthotrichaceae)

An epiphytic moss, growing on sunny bark of trees, in cool- and cold-temperate zone.